毎日歌壇

水原　紫苑　選

好きな果実は柘榴と答ふ神でなく鬼と呼ばれてみたいがために　横浜市　永永　キヌ

〈評〉ザクロには人間の血の悲しみが感じられる。それを鬼は知っているのかもしれない。

太陽も裸になれば石ころと思えば空が愛しくみえる　尼崎市　入間しゅか

〈評〉裸になった太陽に私たちはいつか出会うことができるだろうか。

永遠を定理と呼んで持ちあるくセーラー服の一瞬の群れ　金沢市　塩本　抄

年齢も顔も名前も知らぬまま友達になりタンポポになる　横浜市　友常　甘酢

信じてる　あやとり・星座・テトリスの強くはかない直線たちを　東京　石川　真琴

本当にうれしいときは僕らってジャンプしますね数センチほど　横浜市　安西　大樹

太き枝切られし幹の明るさよ露わになった乳房のごとし　堺　市　初夏みどり

父よりも年上だろう店員に避妊具ひとつ包んでもらう　千葉市　芍　薬

目の前を横切っていく六角の雪は海までたどり着きたい　札幌市　橘　晃弘

壁の絵がすこし斜めになっていて気付けなかった笑顔の理由　松原市　たろりずむ

伊藤　一彦　選

「なぜ殺す」アンネがもしも現代に居たら日記に書かむガザ悲劇　札幌市　北　の　風

〈評〉アンネ・フランクが今生きていたら94歳。イスラエル軍のガザ地区への非人道的な攻撃に胸を痛めたと想像する作者。

改札を抜けてうしろを振り返るどこかで僕を失くした気がして　東京　石川　真琴

〈評〉自分は自分らしく生きているかという思いを、改札口の場面で絶妙に歌う。

沢山のスマホが斜め三十度のままゆっくり進む谷町線　大阪市　タカエレイコ

失せ物をいつまで覚えているだろう望んだはずの暖かな冬　武蔵野市　北谷　雪

大好きな歌よ永遠へむせび泣く水森かおりの輪島朝市　松阪市　奥　俊

自己顕示欲などと評さずいてほしい真面目だったあのころの僕ら　名古屋市　谷　幹雄

挨拶は無視させておけ　あいつらはスーツは鎧と思い込んでる　四日市市　早川　和博

内定が一人息子に出た棟梁よかったなぁと寂しげに笑む　福岡市　松田　仁

水仙の気高く香る仏壇に懺悔吐くときムスメに還る　福　岡　中村まゆみ

砂糖菓子を転がすようなあかるさでオペレーターに告げる新姓　千葉市　芍　薬

米川千嘉子　選

光脱毛器のひかりその脛に当て息子の肌はないろめいて　碧南市　江原　冬莉

〈評〉光を当てムダ毛を目立たなくする家庭用の脱毛器。息子の行動やそういう時代をつかみかねている気分が下句に漂う。

白熱の小学入試を勝ち抜いて友は一家で東京移住　つくば市　小林　浦波

〈評〉受験競争が過熱しているとか。孟母三遷の故事ともちょっと違う気迫だ。

安らけく凡夫は凡夫のままでいい鷗ダンチョネ八代亜紀逝く　横浜市　島田　和生

いなかバス「婆さん座れ」の声がとぶ和むバス中言葉は魔術師　旭　市　岩井とし子

面会は大きなテーブル隔てらる両手を伸ばして指先に触る　京都市　高橋よしこ

就活は終活、とひとしきり笑って話題はフラペチーノに移る　京都市　小池ひろみ

調べるとは検索すること指先に容易くわかることのさびしさ　池田市　黒木　淳子

妹が寝てる間に売れる姉ペットショップの窓は小さい　金沢市　竹内　一二

雨にぬれし幟のしづく見つつ待つデイの車の遅くなるとふ　静岡市　小山　光子

老いるとは風化すること母のまま母のすべてが削られてゆく　市川市　岡本　恵

加藤　治郎　選

こ、こ、ろって落ちた消しゴム拾い上げ僕は明日から帰宅部になる　堺　市　初夏みどり

〈評〉部活をやめる。心が折れたのだ。初句は心と消しゴムが転がる様子を掛けたものである。心情と修辞が釣り合った作品だ。

雷雨となるジョン・コルトレーンのサックスの音ひとつひとつが愛　雲南市　熱田　一俊

〈評〉前衛短歌的な作品だ。意味に沿うと6979音になる。短歌形式で分断した。

雨、あなたのために売ったクルマ、雨、見つからないように掘った穴　福岡市　横井マリノ

わたしには孔雀のような羽はなくただ二度、三度ときみの名を呼ぶ　神戸市　松岡　優菜

何もかもFUCKとおもう朝焼けにテトリスはハイ・スコアに至る　東京　石川　真琴

エジプトの壁画にいても違和感がまるでないボブわたしは得意　横須賀市　森久保りか

過眠症のかみさまの手先になって蛇のちいさな心臓を踏む　花巻市　永汐　れい

大仏の巻き毛が一つ落下する如く寂しい我が抜け毛見て　広島市　堀　眞希

よそものと呼ばれた頃は地上絵の謎を読み解く力があった　大津市　世田　夏雪

客の手を握って釣りを出す人の左右で違うレンズの厚み　松原市　たろりずむ

投稿規定　はがき1枚に選者を指定し、未発表の自作を2首・2句まで。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、宛先は〒100－8051（住所不要）毎日新聞学芸部、短歌は「毎日歌壇」、俳句は「毎日俳壇」、○○先生（希望選者名）係。毎日新聞デジタルの投稿フォーム（https://mainichi.jp/kadan-haidan/）でも受け付けています。

他媒体との二重投稿や同一作品を複数の選者に投稿するのは厳禁。投稿は趣旨を変えずに添削することがあります。入選作は毎日新聞社の電子メディアやデータベースで使用することがあります。

こちらから投稿できます